

広報



かわにし

平成元年 4/10 No.368

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

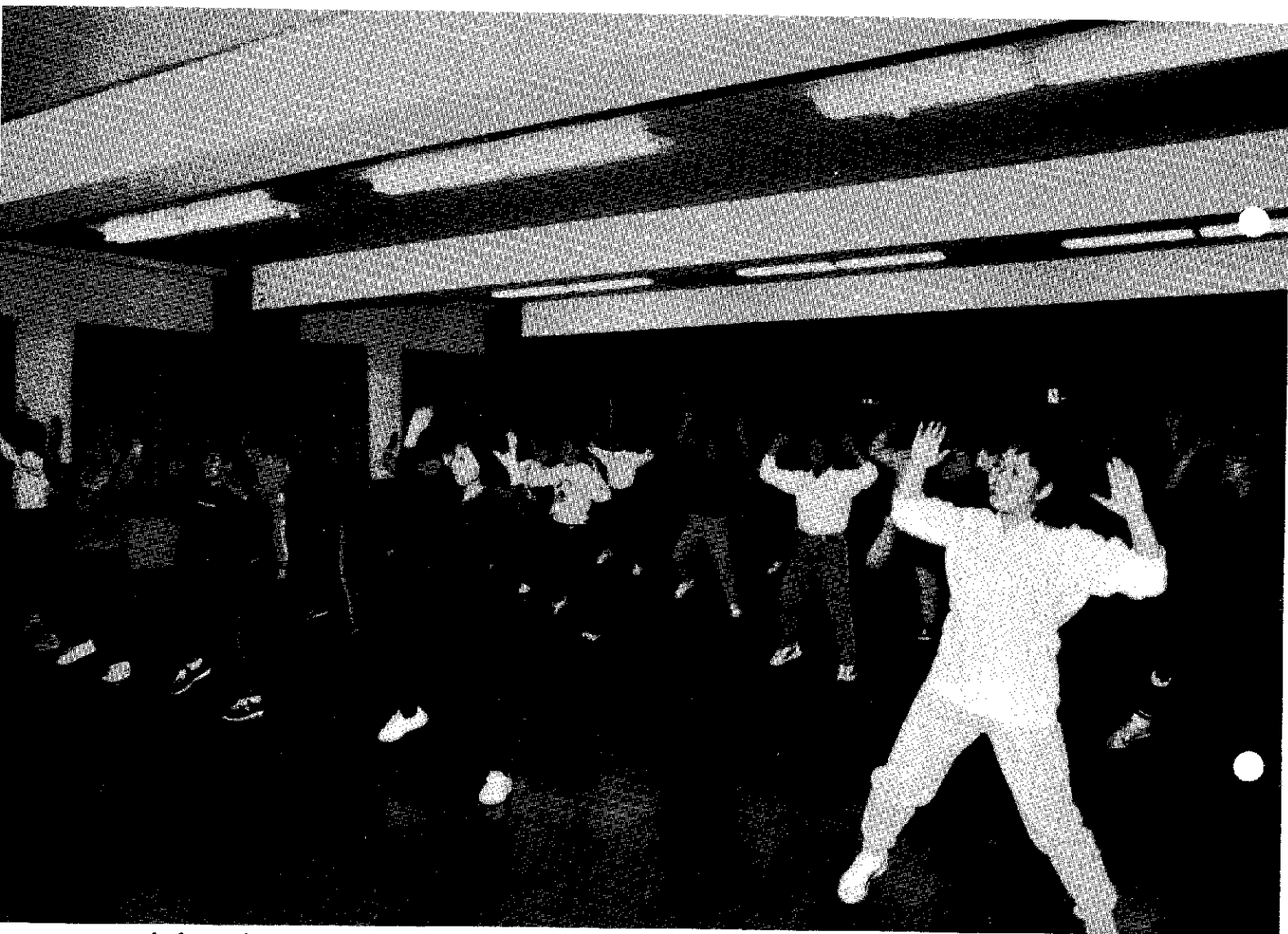
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 4月1日現在 —	
男	4,548 (-31)
女	4,596 (-45)
計	9,144 (-76)
世帯数	2,265 (-11)

()は前月比較



快適な運動で 健康づくり

＝ 3月18日 総合センター ＝

女性に人気のエアロビックを中心にしたこの新しいサークル。6月からの活動開始を前に、実技の説明会がありました。

20歳代から60歳代までの40人ほどが応募しました。軽い運動でも、30分以上続けることで、血管の中がとてもきれいになるそうです。たまには心臓をドキドキさせてやることも大切。じっとしてはサビがたまります。



休日救急医

- 4月16日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581
- 23日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957
- 29日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711
- 30日 山口医院(袋町中) ☎ 52-2174
- 5月3日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
- 4日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269
- 5日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100
- 7日 千手診療所(中央町) ☎ 68-2034

財政構造改善に配慮し 積極的な取り組みを展開

議 会 報 告

三月一日から始まった第二回町議会定例会が、二十四日間の全日程を終わって二十四日に閉会しました。

三日、町長の施政方針演説と新年度予算の提案説明がありました。以後、各常任委員会の審議を経て、二十二日全会一致で平成元年度川西町一般会計と八つの特別会計予算などが成立しました。

一時間余りにわたった南雲町長の演説から、平成元年度施策の概要を紹介します。

財政硬直の指標の一つである公債費比率（町が借りているお金の全体に占める割合）は、昭和六十一年度一三・九から六十二年一三・八に下がった。さらに、六十三年度決算では、一三・〇前後となる見込みだ。県内の人口や産業構造が似通った

議場で演説する南雲町長



町村の平均より健全性を示しており「中の上」に位置している。

一方、道路の改良・舗装率や上・下水道普及率、小・中学校の非木造率など、いわゆる行政水準（注）本紙一月号八ページ掲載）も、県平均をかなり上回るものとなった。

今後、財政構造の改善、財源の安定的な確保に努めながら、生活環境の整備など、町の活性化に向けて積極的な取り組みを展開し、町民ニーズにこたえてゆきたい。

一億円は町民のアイデアで

二月二十五日の町議会全員協議会の意向に従って、当面、基金として管理する。町民のアイデアを広く求めながら、平成元年度中に、活用の方角を決めた

い。

また、中子の遊休地をリゾートがらみで活用するよう町のリゾート推進協議会に図ってゆきたい。

道路の改良と

克雪対策

道路関連事業では、引き続き平成二年完成をめどに、山野田



新十日町大橋に向かって
伸びる山野田下平線

下平線（仮称新十日町大橋に接続する路線）改良工事を進める。東京電力送電線第二ルート工事に伴う路線を含め、改良工事一路線、約一・七キロ、舗装工事一八路線、約七キロを実施する計画だ。

町の重点施策の一つ克雪対策は、流雪溝を整備するうえで、もっとも重要なのは水源確保である。その一環として、農業用水の克雪利用調査を、県とタイアップして実施する。また、克雪住宅の促進をはかるうえから、家屋周辺の環境を整備し、雪に強い総合的な町づくりを目指すために、県費補助事業「克雪タウン計画」の策定を考えている。

また、国・県に対する公共要望は、去年着工の国道404号大口倉トンネルをはじめ、室島の特殊改良第一種工事、中仙用の同工事採掘など十億円を超える要望を提出している。この事業受け入れのため、町負担金千五百万円を計上している。

千手小学校給食調理場



昭和六十三年度に完成した保健センターを拠点として、保健活動を推進する。「健康づくりモデル集落」の強化や「健康づくり大会」を開催し、「自ら実践する健康づくり」を再認識していただきたい。さらに、一日人間ドックや高齢者の健康管理強化などの助成を進めながら、全町民の健康増進を期したい。

また、国保事業で、ヘルスパイオニアアターン（健康づくりのための各種企画）事業の新規導入や、老人の温泉湯治補助事業を引き続き進めてゆく。

保健センターを拠点に 健康管理の強化を



健康づくり大会
(昭63・9・4)

共同の学校給食調理場と 文化会館の建設を

懸案の学校給食共同調理場を、中学校の調理場と併設、合理化をはかる。

町民の芸術・文化のシンボルともいう文化会館の建設に当たり、調査費と建設基金を設置することにした。また、国際化社会に対応した人づくりを幅広く

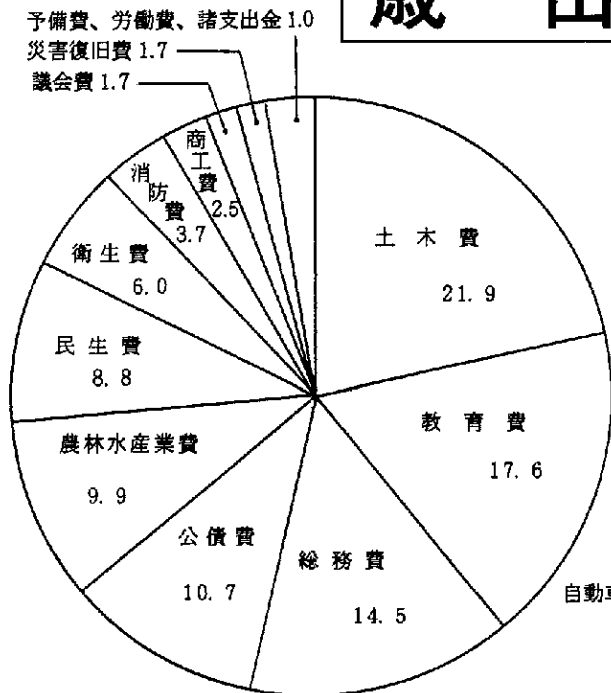
進めるため、海外研修制度を新設した。

直接、予算には表われないことだが、土曜開庁の問題は、国や県、金融機関の実施状況をふまえながら、近隣市町村と足並みをそろえてまいりたい。

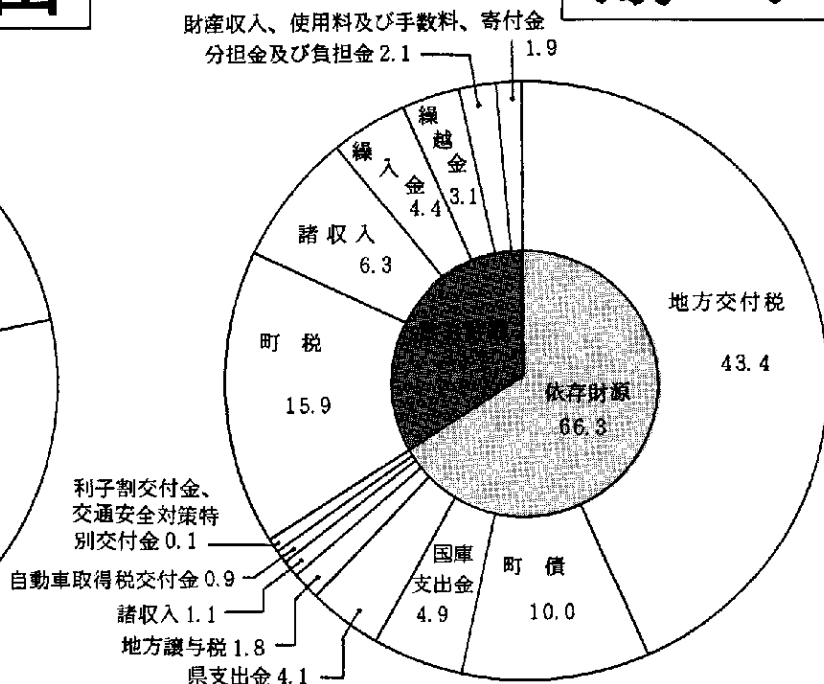
総額 35億3,100万円

一般会計の割合 (%)

歳 出



歳 入



総括質疑

土曜閉庁と住民サービス

登坂 茂 議員

- ① 町は、土曜閉庁制をいつから実施するか。
- ② 去年の温泉調査では、好結果が得られなかったと聞いている。レジャー産業には温泉か鉱泉が必要ではないか。

南 雲 町 長

- ① 二月一日現在の県内状況は、四週六休制の実施と試行を合わせて九七市町村八六・六％と大変高くなっている。
- 魚沼管内でも四月実施を決めている市町村もあるやに聞いている。町としても避けて通れない。



い課題である。松葉荘、体育館、診療所、保育園、幼稚園の対応方法を検討しながら、隣接市町大倉側から工事の進む「浜海トンネル」

三月二十二日、会期前半に委員会付託となっていた、ふるさと創生基金条例など三つの新設条例が原案どおり可決しました。そのあと、九人の議員から平成元年度予算に対する総括質疑がありました。

そして二十五日に、平成元年度一般会計と国保など八つの特別会計予算が可決成立しました。

最終日二十四日は、昭和天皇崩御に伴う議員の懲戒免除等条例の制定を原案どおり可決したあと、昭和六十三年度一般会計ほか五つの特別会計補正予算が可決しました。続いて、過疎地域振興計画(変更)案定と町道路線の認定・変更を可決。教育委員の任命が同意されました。総括質疑の概要を中心にお知らせします(質問順に掲載)。

村との協調を念頭に対応しなければならぬ。

昼食時間の職員離脱の問題は、労基法では「休憩時間は、自由に利用しなければならぬ」と規定されている。したがって、昼食時間に職員が食事のためなどで、席を離れることを極端に制約できないものと解している。

しかし、休憩時間といえども、窓口業務をはじめ住民サービスは現在も実施しているとおりである。窓口の応接、電話の対応など、住民に不便を与えないよう処置している。ご理解を賜りたい。

② 去年、平場地区を中心に温泉の可能性探査をした。期待した結果は得られず残念に思っている。本年は、二五〇万円計上して、仙田地区の鉱泉に目標をあててみたい。

突出した新年度予算規模

平野 正義 議員

- ① 予算の伸び率が一六・七％と突出した。過去十年の最高だ。来年度以降の予算規模設定に影響はないか。
- ② 南雲町長就任以来、財政力指数は上昇し、公債費比率が下がったことは認める。しかし、最低金利時代といわれる現在、高金利の町債が残っている。これらをさらに、繰り上げ償還してどうか。
- ③ 一億円基金の利子を原資に、海外研修の補助制度をスタートさせてはどうか。

南 雲 町 長

- ① 平成元年度一般会計予算の伸び率が一六・七％となったのは、東京電力が費用負担する特定路線整備事業費に係るものが、二億五、八〇〇万円(七・三％)である。また、農業共済事業の決算残高を繰り越し、中魚沼農業共済組合へ支出するのが、五八五〇万円(一・五％)を占めている。これは、近隣市町村と比べ、特に突出した伸び率とはならないと過日申し上げた。
- さらに、ふるさと創生基金一億円が五・一％程度となる。



地域活性化推進研修会
(3・24 活性化センター)

- ② 現在、いわゆる低利率の金融政策が続いている。この機会を利用して町債借入れ枠をあえて増加、年間収支の剰余金に連動させ、高い利率の過去の繰り上げ償還の財源に充当する、いわば借り替えを図っているところである。
- しかしながら、繰り上げ償還は無条件にできないことになっ

ている。町債残高の九五％を占める政府関係資金は、五つの厳しい制約要件があり、町はそのいずれにも該当しない現状だ。したがって、政府系以外の縁故債が高金利な現状から、その繰り上げ償還を進めたい。

流雪溝の安全対策

柳 藤作 議員

① 千手川改修に伴う、流雪溝の安全対策は。

② 総合センター前のごみ置場は、常にあふれている。中央町商店街の中心であり、町の顔である。改善に取り組んでほしい。

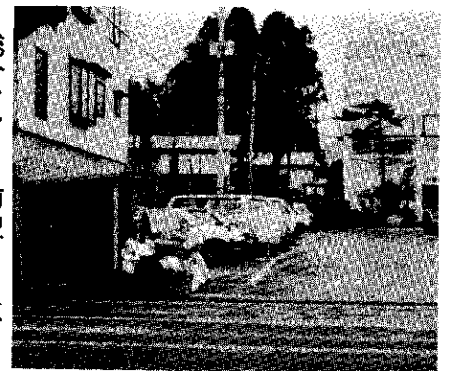
南 雲 町 長

① 改修に伴う安全対策は、現在



中子再開発説明会 (3.8 元町)

③ 私も去年、海外研修の機会を与えていただき、見聞を広めさせていただいた。この体験から、海外を見たり聞いたりすることは重要なことだ。町民や町職員を対象にした海外研修を総務費と教育費に計上した。



総合センター前のゴミステーション (3・20)

あの置き場も、町有地であることを理由に、地元の要請で設置したのが実状だ。

① 完成している区間は、さくを回すことで安全管理がなされている。しかし、事故が発生してからは遅い。この事業が平成元年度完了。河川の引き渡しは二年度となる。それまでの間に、河川管理者の県と安全面について十分協議しなければならない。

② 物が物だけに、地域から積極的に誘致運動がないのが実態だ。

中子開発の経緯と進め方

戸田 哲次 議員

① ふるさと創生資金の活用で、第二セクターを含めた分譲マンション建設はできないか。

② 中子問題の今までの経緯と町民の受けとめ方や考え方、今後の進め方をおきかせいただきたい。

③ 東京電力送電線工事に伴う、

町の行政要望と合わせて、基本姿勢と、今後の対応は。

南 雲 町 長

① 先に実施した役場職員のアンケートにも、町営アパートの増築といったものもあった。しかし、一億円をハード面に使うとなると、いささか中途半端な感

ふるさと創生一億円

小林 正人 議員

① ふるさと創生一億円の基金で、渋海川に魚のよみがえる施策を。

② 同基金で、活性化センターにバイオ研究室の設置を。

南 雲 町 長

① ふるさと創生基金活用の中での問題は、いずれ町内各界各層のご意見を拝聴したうえで対処することになっている。貴重なご意見として承っておきたい。

② 県内のバイオ技術の取り組み状況は、新潟市、小出町、堀之内町など、主産地の草花類が主

じがしないでもない。十分協議検討し、地域の活性化に役立てたい。前の質疑と合わせてご了解賜りたい。

場外車券売り場の賛否は住民投票で

② 中子再開発についてお答え申し上げます。この問題については、去年十二月に、町内の有志から紹介があつて、立川市に事務所を有する民間団体によって持ち込まれたのである。

それは、日本中央競馬会的主



渋海橋付近から上流を望む

催する馬券売り場を開設すると同時に、それを核とした入り込み人口に対して関連する産業を順次拡大をしてゆくというものであった。

場外馬券売り場は、つぎの会合のあった十二月二十八日に、立川市営の競輪の場外車券売り場に変わっていったのであるけれども、この問題は今回の主題ではないので省略をしたい。

ところで、この話を聞いた私は、最初は率直に申し上げて、強い戸惑いを感じた次第である。私は、競輪、競馬、競艇はもち



千手地区婦人を対象に中子再開発説明会
(3.12 総合センター)

(前のページから続く)

るん、パチンコ、マージャンに至るまでかけ事はからつきし無縁の男であった。しかし、競馬や相場で先祖伝来の財産を失い、夫婦間、親子間の不和から家庭の崩壊に及んだというような話を聞かなかつた訳ではなかつた。

また、そのようなかけ事、つまりギャンブルの影には、暴力とか犯罪とかいった社会の暗い部分が関係をしているのではないかと、さらには勤勉善良な川西の風土に、このような施設がスムーズに受け入れられるものなのかどうか、等々であつた。

しかし反面、川西町が当面最も強く求めている地域活性化のため、雇用の拡大とか、関連産業の振興とか、あるいは税収の増加、さらには周辺環境の整備など魅力的要素も見逃すべきではないと考えて、まず町の議

に協議をする問題だと判断をしたのである。

そこで、議会への協議に先だつて新年早々に場外車券売り場に限定をし、職員二人にひそかに説明資料の収集を特命した。特命された二人は休日を返上し、精力的に調査に没頭してくれた。

その結果、ある程度の資料が出来たので、一月十七日、二月二日に連続して議会全員協議会の開催となり、さらには二月十六・十七日立川市、館林市への視察となり、その結果議会の一致した開発推進の方向が打ち出されたところである。

その後、二月二十日にはマスタープランの提出を受けて、私も県庁とか関係方面に対して事業の概要と、地区の説明会計画などを持参して、県に対しての説明、報告をしたところである。

そのころからこの計画が特に場外車券売り場に限定された内容で町民にかなり広く流れていった模様である。また、テレビ、新聞などで衝撃的に報道されたこともあって、多くの町民に不安と動揺を与えたことは、私としては誠に不本意であるにせよ大変申し訳ないと思つてゐる。

その後、ご存じのように第一次として中子地区に至近の町内を中心として、説明会を重ねてまいつた。

次に第二次説明会と合わせて、町内の多くの方々から直接に競

輪に関係する施設を多面的、多角的にご視察いただいて認識を深めてもらうという計画も進めておるところである。

さて、中子再開発は、競輪場場外車券売り場や医療福祉施設を中核とした計画なのであるが、当面、場外車券売り場に限定した方式で説明会や視察などを進めている次第である。

その理由については、再々申し述べているところであるが、おおむね次の理由によるものである。

一、この再開発の中でギャンブル施設であるということから、最も町民の関心の的として説明をする必要がある。

二、全体計画の中核的施設の位置を占め、最初に施設をする必要がある訳である。これによつて入り込み客を招き、関連施設を整備することになる。

三、施設の建設利用について、いまの時点では特定されたデベロッパーがない。おおむね先が見えるのはこの車券売り場だけである。

四番目は、一から三にかけて申し上げたように、町で具体的な説明ができるものは、現在の時点では車券売り場しかない。このような事情に基づくものである。以上が現在に至る経緯である。

次にお尋ねの町民各位の受けとめ方、考え方などについて私

見を申し上げる。かけ事施設、ギャンブル施設の導入に対して町民各位の受けとめ方はまさに千差万別、多種多様に近いものがあると思われる。

それは年齢、性別、教育、思想など、さまざまな環境によつて、いろいろな考えの人があることがごく自然であります。私のところにも賛否両論にわたつて率直に話に来てくださる方がおられる。その是、非にかかわらず、大変ありがたいと感謝を申し上げている次第である。

それは、皆さんそれぞれ将来のことを考えていくからである。自分の思っていること、あるいは考えていること、これらを率直に言えない世の中であつてはならないと思うし、また、ある力でそれを制約するというようなことは、決して許されるべきではないと信じている。

本日は多数の傍聴者の皆様もおいでなので、この際私はお許しを頂いて、改めてひとつだけ申し上げておきたいことがある。それは、場外車券売り場はもうすでに決定していることではないか。ことださうだ。町と議会は町民の知らないうちに決めたのではないか。などという風評である。私の耳にも何回かそれらしいことが入ってきている。このようなことは全くない訳である。このことを明らかにしておきたいのである。

私は、町民の皆様から最終的なご判断をしていただきたい。このように考えているものである。

ここで今後の問題について申し上げてみたいと思う。川西町では町村合併以来三十年余、地域の発展と住民生活の向上のために、数々の大事業を進めてまいつた。その都度、関係の方々との十分な調査研究を行い、その成果を見極め、地域をあげて総力を結集してことにあたつてまいつた。

このたびの中子再開発問題は、その中身において中核施設のひとつがギャンブル施設であるということは、まさに異色の内容をもつものであり、それだけに慎重を期さなければならぬ、このように考えておるところである。

私は、ここでまず結論を申し上げてみたいと存ずる。私はこの再開発の賛否を住民投票によつて決したいと提案する。私は、ギャンブル施設について賛否両論あることを十分承知している。こと両論は先に申し上げた心配される事柄と、魅力を感じた要素から出発している。そして、それは相互に融合できない、相対立する用件である訳である。極端な言い方をすれば、お許しを願えるとすれば、この施設でいかに町や地域が潤ったとしても、競輪にのめりこんで破産

状態になる心配は解消される訳ではないと思う。

また、公共施設の整備など、少々遅れてもギャンブル施設など感覚的に拒否をしたい、また、競輪で破産する人間は、パチンコでも同様だと考えるべきだし、川西町に施設がなくても、どこでもできる訳だから、それは被害妄想に近いのではないか、この際、町の活性化のために断固として決断をすべきだ、このように言われておる訳である。

これらの論議は全く平行線をたどるもので一致点は残念ながら見出せない性格である。また、私は、疑心暗鬼、モヤモヤした雰囲気の中、に充満させる、あるいはうやむやのうちに町の方針を決定すべきではない、このように考えている。

町民各位のお考えを集約する方法としては、集会によって決める方法とか、あるいは同意書による方法とかいろいろ考えられるところである。しかしながら、各人が直接に意思表示のできる最良の方法は投票であろうかと思う。

かつて、旧千手町時代の昭和二十六年に自治体警察の存廃について住民投票を実施したことがあった。その後、このような投票は全く事例がありません。また、みだりに行うべきではないと考えている。しかしながら、私はこの問題の重大性にかんが

みまして、あえて町民のお一人おひとりに、川西町の将来をいかに考えるか、皆さんと一緒に考えてまいらう。このような原点に立ち返って問いかける機会にしたいと、このように考えている次第である。

また、そのためには当面はかねて説明会で約束をした関連施設の視察であるとか、あるいは説明会、さらには対話集会を重ねていき、町民の一人ひとりに判断材料の提供につとめたい、このように考えておるものである。また、この住民投票の時期、いささか早きにしようであるけれども、特に平成元年度は、選挙事務の多忙な年である。今後、具体的な日程調整に入らなければならないと考えているが、私案として、私の案として、八月に予定される町の議会議員選挙、また七月に予定される参議院議員通常選挙の前に実施をすべきではないかと考えておる。

③送電線第二ルートは、平成元年度から着工の運びとなった。町が承知している範囲では、約束に相違があったとは思っていない。協定に違反があれば是正してもらおうよう申し入れた。この第二ルートの建設は、町でも積極的に協力する姿勢で取り組んでいる。極力、円満に解決しながら無事完了するよう願っている。

行革と給食のセンター化

田口直人 議員

①行政改革の名のもと、学校給食のセンター方式は、地域に根づく学校給食からは遠い存在となる。子供の命と心を養うには、むしろ自校給食を進めるべきではないか。

②条例で、「指名業者の選定にあたっては、中小建設業者の育成を基本とし」とあり、この基準は、昭和六十二年施行から四年経過した。地元業者の育成、地域活性化のために等級標準を見直す時期にきているのでは。

南 雲 町長

①昭和五十七年度の臨調答申に



町道上野西浦1号線の改良舗装工事

どの一元化で学校間の格差解消。指導の一貫性が図られる。(6)児童、生徒数増減に対応しやすいなどが考えられる。

基本計画により進めてきた現段階では、いわゆる阻害条件を一つひとつ解消するよう努力してゆきたい。

②規定に示されている基準は、大変まぎらわしい点がある。平成元年度、第一回入札執行に間に合うよう見直しをやりたい。

短期間での財政再建

滋野一郎 議員

①約五年間で、県下町村の平均を上回る健全財政をなしとげた手腕、力量を賞賛する。しかし、短期間での財政再建は、町の活性化に相当の無理があったのではないか。

②固定資産税率を、一気に一・四％の標準税率には下げず、〇・〇二五％引き下げにとどめた理由は。

③水田農業確立対策費を八二四万五千円、前年比一三万五千円増と昨年並みにした根拠は。

南 雲 町長

①活性化のとりえ方や基準は千

差万別だ。数字で比較しやすい例を申し上げる。

全国にある類似団体と、町の一人当たり投資した建設事業は昭和五十八―六十二年度五年間の平均で、類似団体が八八、二九五円に対して、町は九二、四〇二円と四、一〇七円上回っている。法人税の収納額は、昭和五十八年度、二、八七五万九千円に対して、六十二年度では、四、〇一六万円と約四倍の伸びである。

②固定資産税率の引き下げは、昭和六十年から逐次実施、近い将来に標準税率まで下げたい。五十九年度まで適応していた百分の一・七と新年度百分の一・四五の差が税額で約一億五千万円



例年より早く始まった育苗作業
(3.20 上野ライスセンター)

になる。これだけの減税は、かなり長期的な見通しを立てて、確信を持たない限りすべきでは

都市計画の構想と内容

小林 寅雄 議員

農業立町として農地の保全、自

- ① 都市計画の事業推進にあたり
(1)用途地域指定の時期と範囲。
- (2)都市施設、市街地開発事業の構想と内容。(3)山野出土地区画整理事業は、地域指定とは別に計画、実施されるのか。
- ② 信濃川水力発電再開発工事に起因する水問題の交渉と、町民要望貫徹に向けた所信は。
- ③ 過疎地域特別措置法の期限切れで、町財政、政策面にどのような影響があるか。

南 雲 町長

① 都市計画事業を進めるうえで



千手裏の沢のJR水路トンネル
工事土捨て場(3・20)

ないと考える。

カタツムリの動きのように遅くとも着実に標準税率まで到達したいと考えている。

- ③ 水田農業確立対策費は、前年比一〇・七％となっている。転作機械整備補助金が三十五万前年比三九・四％に減少している。転作機械の切り替えによる事業規模の縮小と考えている。ほかのソフト面では、新たに淡水でのレンコン、クワイ、加工用青刈り稲の出荷助成、生鮮野菜の助成を盛り込み、七八九万五千円、一〇九・四％となっている。

然保護を基本に、立地条件との調和を図りながら、文化的な都市生活、機能的な都市活動ができる町づくりが、基本理念とされている。

- (1) 農村総合整備モデル事業で、フラッシュ施設事業を実施している関係から、この事業が完成しないと用途地域指定ができない。平成四年ごろには指定できるという見通しだ。

- (2) そもそもねらいは、小千谷・十日町・津南線の拡幅整備が大きな目的であり、街路事業を予定している。このほか、下水道、河川、公園などを整備したい。また、土地区画整理事業も重要だ。

- (3) 山野田地域は、平成三年供用開始予定の新十日町大橋の建設で、急に利便性が高まることから、住宅地域としての土地利用の増大が予想される。いままから計画的な開発を進める必要があると認識している。区画整理組合設立のためにも、一体となって推進を図りたい。

- ③ 被害ありとして現場検証したのは三二件にのぼっている。このうち、二件だけ恒久的対策が必要であるとして、JRが認識している状況だ。

JRは、あくまで被害が生じたときは補償する。清津ダム建設の負担を覚悟のうえで、対応する姿勢は今でも変わっていない

い。反面、被害が生じないときは、横坑から出る水は、町で自由に使ってくださいという姿勢は崩れていない。施設を補償でセツトさせたいという町の考えとは相当のくいちがいがあ

って非常に大きいものがある。ポスト過疎法は、町活性化の面で欠くことのできないものである。目下の要望は、同法の延長ではなく、新しい立法に基づくものである。新法成立運動の強化に十分配慮しなければならぬ。過疎地域が丸となった運動が大切だ。国県への働きかけなど、町議会でもあらゆる面でご支援願いたい。

千手養豚団地の移転は

柄沢 悌二 議員

- ① 去年、中島町・山野田地区町政座談会で、町長は養豚団地の移転を前向きに検討するといわれた。十日町市からも善処方要請があると聞いた。どこに、いつ、移転する考えなのか。

- ② 河川の汚れは、年々進んでいる。特に、木島川、貝喰川の水質汚染は著しい。千手地区の下水道整備の考えは。

南 雲 町長

- ① 養豚農家も、それなりに努力しているが、その成果が見られない。悪臭を皆無にすることが技術的に困難とすれば、最終的には移転しかない。しかし、とても一朝一夕にはいかない問題だ。

原因は養豚農家自身にあるといっても、公害対策審議会を中心に、中島町特別委員会の皆さんと一体となって一日も早く解消方向に導けるよう、移転をも含めて、鋭意検討願っていると

- ② 下水道導入は、地区内の人口から建設省所管の特定環境保全公共下水道事業に該当すると受けとめている。フラッシュ事業が平成元年度に完成することから、同二年、三年度あたりで住民意向調査をし、四年度に実施計画に取り組む。そして五年度以降に着手できれば最短距離であると考えている。

しかし、受益者負担が大きな課題だ、この点も合わせて検討しなければならない。

農業共済合併

大きな力に期待

農業共済事業は、四月一日から郡市内一本の共済組合として運営されています。この合併記念式典が、三月十七日総合センターで開かれました。

式典では、共済事業に特に功労のあった次の方々がそれぞれ表彰されました（敬称略）。

損害評価委員会

損害評価員

南雲幸二（寺尾）
羽鳥力夫（伊友）
村越家（野口）
小島謙作（新町新田）
中条真吾（岩瀬）
小川昭一（上野）
水品喜治郎（三領）
小幡正徳（仁田）
丸山正平（下原）

表彰を受ける損害評価員



滋野永勝（野口）
齋木利栄（小脇）

町の農業共済組合は、昭和二十三年、千手町、上野村、橋村、仙田村ごとに設立されたのが始まりです。その後、町村合併により組合も合併、昭和二十七年には、町の事業として移譲されました。

昭和六十二年度の加入者数は、一、二四四人、水稲の引受面積は八九、二〇〇アールとなっています。

中魚沼農業共済組合は約七二〇戸が加入し、県内では八番目に大きな組合となっています。

組合員からは、農家経済の安定と、農業生産力の発展向上に期待が寄せられています。

上野 集落下水道が完成

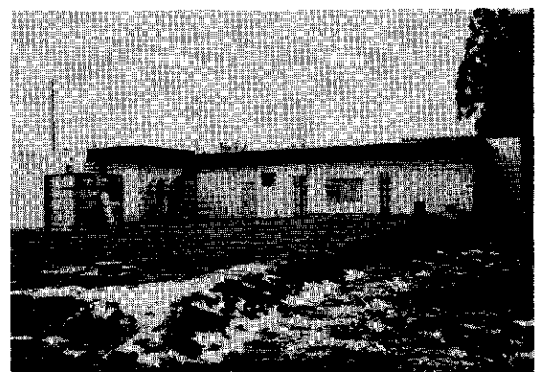
三月二十九日、上野地区集落下水道事業の竣工式が開かれました。

同地区の下水道は昭和五十六年から農村総合整備モデル事業で進められた、町で初めての下水道事業です。総事業費は四億六千万円あまり、国県から七〇%の補助を受け、町費二七%、受益者負担三%で完成しました。

下平新田に建設された排水処理場では、一日当たり二八〇ト

ンの汚水が処理できます。この処理場と各家庭の間は、道路に埋設された下水管路（延長五・五キロ）で結ばれています。

地区の九八%にあたる二三五戸のトイレ、台所などからの汚水は、きれいな水に処理され川に放流されています。各家庭内の設備工事費はすべて個人負担で、平均すると五十五万円ほどとなっています。



昭和58年10月完成の
集落排水処理場

町の環境整備に大きく役立つ 簡保還元融資

皆さんが月々納められている国民年金や、簡易生命保険の保険料は、町が借りる国民年金積

立金還元融資や、簡易生命保険積立金還元融資という形で、公

共施設の整備に活用されています。

昭和六十二年度に還元融資を借り入れた事業名は次のとおり。

山野田下平線改良舗装、上野西浦一ノ線改良舗装、中仙田西浦二ノ線改良舗装、野口原田線舗装、鶴吉部落内改良舗装、高原田伊友線舗装、新町新田中学校線舗装、木島高原田線舗装、山野田下平線流雪溝、元町部落内線消雪パイプ、林道若ノ窪線舗装、ロータリー除雪車、地域活性化センター、松葉沢公園、白倉集落広場、防火水槽（中屋敷・上野・室島）、小型消防ポンプ（赤谷）



山野田下平線改良舗装工事

はる
歴史
語
25

柏崎日記

その四

岩瀬 金子 幸 作

天保から弘化へ

天保十五年（一八四四）は、

十二月二日が弘化元年と改められた年である。黒船が浦賀沖に來航する九年前で、この年あたりから外国船の寄港が一段と激しくなる。幕府は諸大名に沿岸の警備を嚴重にせよと命じ、また、近海の深い浅いを調べて報告するように命示している。海に面した桑名藩でも、海防に力を入れたことがうかがわれる。

この年五月渡辺平太夫は寺泊の万善寺村に宿をとって巡検するが、三島桑名領の野中才・五千石（現在分水町）、北曾根（現寺泊町）などの見分を終えると、二年ぶりにまた魚沼領の山谷組をたずねて足を伸ばす。

殿様のお通りだ

五月十四日（現在の六月二十九日）の朝、万善寺の宿を出立し、千曲川の土手を二キロほど進んで四ツ（午前十時）過ぎに与板宿へ着く。先へ行くと、人足が仰山に出て道を掃除していた。「何ごとか」と聞くと、

「去ル十日二江戸城の御本丸が焼失、明日、大守様（与板城主）が急ぎよ江戸へ御出立」という返事でまことに恐れ入った。

千曲川の渡しは風が強く、そのうえ近日の雨続きで増水しており、舟を上流から流して向こう岸へこぎ着いた。川土手の通りを四キロほど行くと茶屋があつて、弁当を使い、さらに四キロも進んで長岡町に入る。

また千曲川越えて

長岡町ハ高田同様雁木通り也。町並相応ニよろしく、此辺での御城下也。高田程は無之候へと、相応ニ能キ見セも有之候。式り行六日町。茲は一向の在郷也。人足早速出、老り程にて千曲川の渡し場、左ハ三国通也。

此渡しは先刻の渡し場より余程急流にて馬船不出候故、人足二代り候。渡し場岸數十丈高く岩うつろの様成処、五六丁の通りを大縄ヲ張り、それ二つかまり舟を上へ登ラセ、夫ヨリ中流へ出ル。東海道の富士川、掘川渡しの様也。一り行小千谷宿。茲ハ先年も泊り、宿ハ問屋ニ

て定宿也。暮合ニ着。道のりメ拾り半之由。万善寺二三晩窮屈にて困り候所、今夜ハ緩々致し一盃給へ早く休ム。当所ハ縮市の有之所にて、大商人も大分有之。皆縮屋也。此節最早諸國へ売り出、日々市の市も淋しく相成候由。先ハ繁花之事也。

オオカミが出た

十五日は曇で、折々日が当たり、雨も少々降る天気だった。平太夫は、小千谷宿を馬で五ツ（午前八時）ごろ出立し、上野村新郷御高入の見分に向かう。真人宿までの二キロは山坂が多く、馬上もグラツとしてはなはだ危なかつた。上野村の村役人と人足共が馬を曳いて迎えに出ていたので、まだ早かつたが真人宿で弁当を使つた。

旅商人を喰い殺す

去年八月の事にて、髪付油等商ひ候三十五才の男、茲より六丁在郷の泊（外丸）のものにて有之。昼九ツ（正午）頃当宿より小千谷へ参り、其節当所のもの老人同行候処、是より十丁下、山の下二漆の木有之所迄参ると、牛の様成狼、道下田の中

より飛出、右商人の肩へ飛付、髪をくわへて倒し候所、驚キ起上り、漆の木にかけ登り候所、足をくわへ引ずり下し、咽ぶへをくわへて田の畔へ引ずりおろし候由。当所より一同ニ参り候もの、其様子見て逃戻り、遠方より跡ふり返りミレハ、助けてくれと申。二三声致し夫切。

夢中ニ飛び戻り、村方へ申触れ候二付、村中集り、剛の者すぐり、七、八人各棒ヲ持、中ニ一刀帶し、右逃けて参り候男の案内にて現場へ参り候所、未タ最中、畔道にて商人ヲ喰ひ居り体ヲ見ると、村方之もの四、五人は逃げ出し候。

天びん棒でなぐる

残りし剛氣なもの、老丁斗手前より狼に声を懸け候所、後をふり返り候へとも、参る様子も無之と存候内、稲の中をくぐり思ひ付なき所へひつこりと海道へ上り、一飛ニ、先ニ居り候男の足をねらひ飛か、り候所、片足後へ引ながら、天びん棒にて碎ける程犬の耳たぶなぐり候へハ打倒れ候よし。其節右之男棒ヲ手放し候故、脇の男、犬の起上る所へヌミケンをしたたかなぐり、倒れ候所、老人の男脇ざしを抜き投げ付候所、狼の腹へ当り、起上らんと致し候へハ、

腸出、よハリ候処ヲ、集りなぐり立て、逃げ候ものも戻り、忽ち殺し候よし。

夫より喰れ候ものをミレハ、顔ハ半分の余も喰ひ、頭の皮をむき、手足等喰ひかき、所々へ喰ひかけヲちらし置、目玉壹ツ脇ニ落て有、其けんまく申をふ様なき恐ろしき事で御座リ歟。其狼、胴の長さ六尺余有之、目方拾四貫余有之、古来稀成大狼と申事ニ御座候。先日田植の節田の中より目の玉又老ツ掘り出候二付、右男の親の方へ送り遺候と申。扱々おそろしき事也。

筆者注 この時代に、オオカミに襲われた人の話が川西町にも残っている。ヤマイン（山犬）のことで、千手や上野では「オイノ」とも呼んで恐れられた。



小千谷市真人の中央通り（昭63.10.7）

新潟県書き初め大会入賞者

—— 主催 県書道教育研究会 ——

●小学生の部

準大賞

6年 石沢 宏能 (千手)

特選

3年 柳 香織 (千手)

4年 柄沢 大輔 (〃)

南雲 朝子 (〃)

5年 大久保 雅基 (橋)

春日 麻由美 (千手)

木村 里織 (〃)

高橋 和香子 (〃)

高橋 梢 (〃)

6年 大久保 博基 (橋)

五十嵐 キミ子 (〃)

準特選

1年 平野 理恵 (千手)

南雲 昌裕 (〃)

3年 小海 明子 (〃)

野上 康代 (〃)

小川 朋美 (〃)

平野 彩子 (〃)

羽鳥 奈穂子 (橋)

南雲 大輔 (仙田)

星野 智子 (〃)

小川 正 (〃)

江口 洋 (白倉)

4年 平野 雄介 (千手)

蔵品 和臣 (〃)

清水 朝江 (〃)

小林 純子 (〃)

星名 力成 (〃)

高橋 羽瑠子 (〃)

柄沢 英理子 (〃)

村山 正浩 (〃)

5年 数藤 真弥子 (千手)

星名 愛美 (〃)

星名 恵美子 (〃)

高橋 詩江 (〃)

田中 美里 (〃)

北野 めぐみ (〃)

関 雅夫 (〃)

田村 雅寿美 (〃)

齋木 恵美 (〃)

小川 真紀 (〃)

6年 船山 岳夫 (〃)

高橋 五月 (〃)

星名 あさ子 (〃)

関 文恵 (〃)

田中 稔 (〃)

田辺 紀子 (〃)

五十嵐 淳一 (橋)

●中学生の部

特選

1年 高橋 ゆかり

2年 田村 真一

3年 数藤 光恵

準特選

1年 星野 明子

星名 聡美

2年 秦野 利彦

戸田 美和子

高橋 憲二

3年 田中 みどり

小海 里恵

太田 裕之

学年は一月当時のものです。

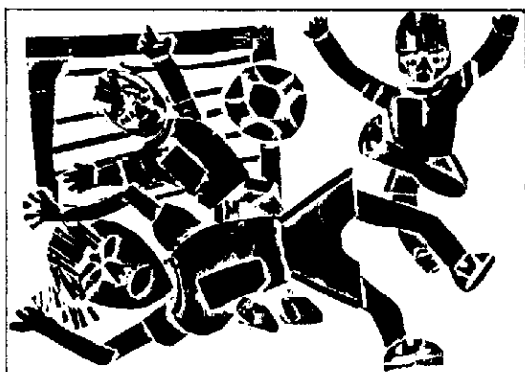
ちいさな展覧会

橋小学校

9



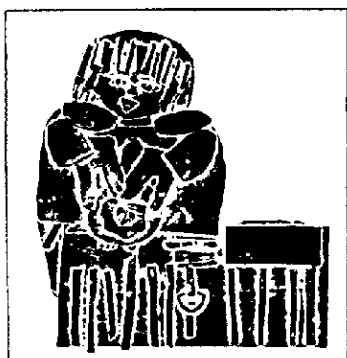
4年 高津京子さん (版画)



2年 戸田和樹君 (版画)



1年 山口こうたろう君



3年 田中 歩さん (版画)



5年 高橋重人君 (版画)



6年 根津 誠君

●学年は三月当時のものです。
(5月号は仙田小学校です)

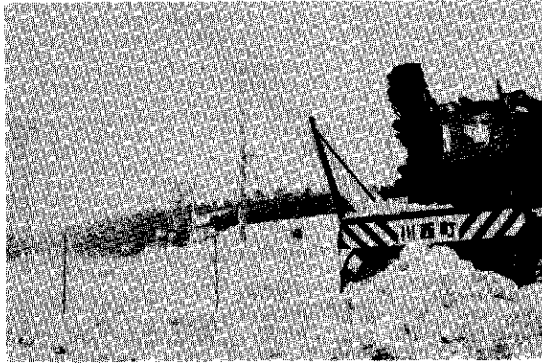
第2回 川西雪まつり

カメラルポ



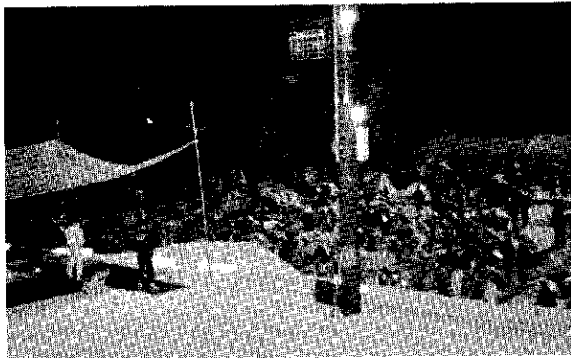
ミスかわにしに選ばれたお二人
上村弘美さん(左)と富井智子さん

前夜祭の会場作りには、ダンブ三〇〇台分の雪を運搬、ロータリーも出動しました。



三月四日、五日 第二回川西雪まつりが開かれました。異常ともいえる暖冬少雪のことは、会場の選定や中止するかどうか最後まであやぶまれました。開催を最終決定したのは、二月二十三日でした。そのときの積雪はおよそ三五センチ。
前夜祭会場は、角万寺スキー場から庚塚運動場に変更。あいにくの雨の中チビッ子の歌や、ミスかわにしの発表などがありました。また、雪上モトクロスや人間ばん馬大会などは、山の上のモトクロス場となりました。雪上ソフトボール大会と、雪像づくりコンテストは中止されました。

雪ではなく、雨となってしまう前夜祭。特設ステージにはビニールシートが張られました。



一八組がエントリーした、仮装人間ばん馬大会。荷物は名産コシヒカリ。



前夜祭のフィナーレは、農協・商工会婦人部の踊り「川西音頭」総勢五〇人。ナイヤガラ付きの花火がきれいでした。



雪上モトクロス発祥の地、コースはところどころが雪上です。県内外から150人の選手が出場。



人間ばん馬大会に登場した「おかこ」に拍手かっさい。けっこう寒い日でしたのに……。



小正月行事「さいの神」を再現した、仙田地区の皆さん。ほら貝にミノ、カサ、ひょうしぎ。



小杉 彩・星名 泉



佐藤けい子・樋口ひろ子



中島聡子・江口香織



根津絵理奈

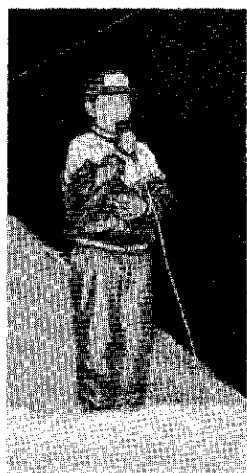


田中香奈子

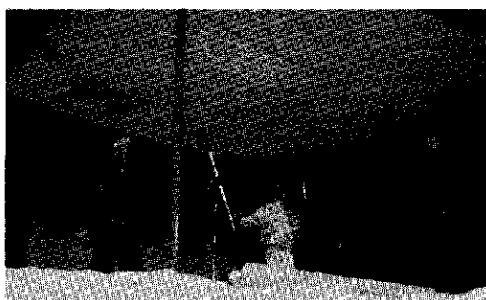


高橋明生・小林正英・佐藤秀明
小野塚裕一・水品達也・小海 基
水落洋介

チビッ子紅白歌合戦 出場の14組



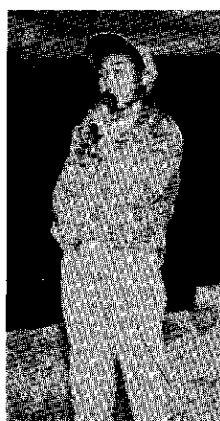
八重沢竜也



星名力成・星名康弘・蔵品和臣



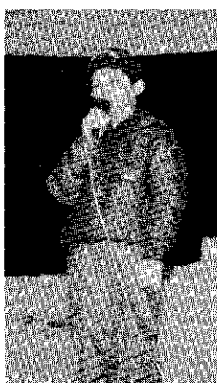
関 雅夫・羽鳥一馬・大塚 晋
山岸和洋・平野泰生



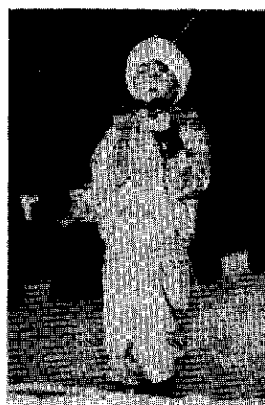
村山正浩



大塚有沙



清水俊樹



田中恵梨香



桐生千恵

初めて 川西町を一周

綾瀬市 野沢ますえさん
(野口出身)



毎月「広報かわにし」をお送りいただき、有り難うございます。主人と楽しみにしております。

まず、一番先に目を通しますのが俳句のところ。次に、「たかさご」「昇天」のところ。知人の昇天には心が痛みとても寂しい思いがいたします。町を離れてから二十三年になります。二年前の五月の連休に実家へ二泊し、野口から白倉へ行くスカイラインを車で登り、大白倉、中仙田、高倉から吉田へ出て、初めて川西町を一周し

てみました。道路も、すっかりよくなつて驚きました。赤坂の上で八海山を望み、孫四郎方面を眺め、その下の田んぼで牛の鼻っ取りをしたことなど、子供のころが走馬灯のように思い出されました。

もう年金をもらう年になりましたが、歳月の流れの早さに、人生つて過ぎれば、あつという間の出来事のように思われます。今年の暖冬は、そちらも雪の少ないことが、広報で積雪観測の記録に出ていましたが、こちらも日中は暖房なしで、家の中は二十度もあります。

何年か前に野口の山から採つて来ましたが、シウジョウバカマ(ノリツケバナ)やシユンランも、今、大きなツボミをつけています。毎年まいねん花を咲かせて故郷の春を思い出させてくれます。

先日、戸塚に住む友達にフキノトウをいただき、てんぷらやつくだ煮にして雪国の春を味わいました。この辺は、ワサビ田もあり、高座豚が有名です。山菜などは何もない所です。厚木基地が近くにあり、時には米軍機がうるさいこともあります。

今は、どこの家の庭先にも梅の花が満開です。わが家の庭にも、日中はかわいいフクジュソウが花を開き楽しませてくれます。

2月1日 発

天皇陛下の 崩御に際して

豊島区 田中重正さん
(下原出身)

一月二十二日「殯宮(ひんきゆう)」一般の拝礼に、妻と二人で行つてまいりました。二重橋前は大変な人混みでしたが、三十分くらいで遺影が安置されている長和殿前に進むことができました。拝礼しながら、約半世紀前のことを追想していました。

当時、私は高田の連隊に入隊、昭和十五年八月、千葉市郊外の

陸軍歩兵学校へ分遣を命ぜられました。たまたま同年秋、代々木練兵場で皇紀二千六百年式典があり、それに参加。天皇陛下を咫尺(しせき)の間に拝することになりました。ちょうど親兵式で歩兵学校の整列場所が、陛下が白雪号にご乗馬になつているお席の一番近い位置でありました。

陛下が、分列行進が続くおよ

そ一時間の間、挙手の礼をされたまふ、文字どおり身動き一つなさらなかったことに強く感動したものです。あのときの感動は終生忘れることができません。私は、約半世紀前の親兵式場で、陛下を間近く拝したときの感激を思い起こしながら、妻に促されて遺影の正面から離れました。

今、陛下の戦争責任が種々論議されています。しかし、日本が戦後、幾多の困難を乗り越えて繁栄を得たのも、陛下が私ども国民の中心となつて、大きな心の支えとなつて、みんなが努力した成果であらうと思っております。

著書紹介に感謝

墨田区 土肥正栄さん
(室島出身)

拝復 本日は、有り難い品のご惠送を賜つたほか、「広報かわにし」三部まで同封されてあり感謝申し上げます。

あのつたないだどといつづりは、皆様がた推測、判読にお悩みになつたことと存じ、恥ずかしいことです。だが、内容はともあれ、尊い命を犠牲にされた諸上司、先輩、同僚、後輩

を忍ぶに、飽食の時代に馬骨をさらしているのが申し訳なく、せめて、ご供養の一端にでもなればと発刊に至つたものです。

広報紙にご紹介いただいたおかげで、早速二人の方から配布方依頼がありました。いずれも私の知らない橘地区の方からでした。

つたない著書でもこうして要望があつたのも、広報紙のおかげです。有り難いことと重ねがさねお礼申し上げます。

皆々様のご健康をご祈念申し上げます。 敬具

おわび

三月号この欄の市川昭二さんは「元赤岩小学校勤務」の誤りでした。訂正します。

「緑の羽根」募金

4月1日～30日

あなたの力で豊かな森林を

募金に来庁した上野小・緑の少年団(昭63・4・4)



ねんきん

ふくし

今月から国民年金の

保険料納付が口座振替に

今月から年金保険料は、定額八、〇〇〇円、プラス付加保険料八、四〇〇円となりました。

前納希望者は、九三、六八〇円

付加保険料のある前納者は、九八、三六〇円を振り替えることとなります。振替日は毎月二十八日で、当日預金残高が不足のときは、翌月五日に、また振り替えることとなります。

年金保険料の前納取扱期限は、毎年四月末日となっています。従って、前納希望者の再振り替

えはできず、二十八日に口座に振替可能残額がなければ、前納納付の取り扱いができなくなります。

また、四月は、年金のほか国定資産税や保育料があります。残高には十分ご注意ください。

善意

● 広報発行に

小林和義さん(墨田区) 一万円
小林莊平さん(豊島区) 一万円

新しい家族 No.5

夫婦で子育て

マミちゃんのおみやげ

「そう。おばあさんには何を買ったの」

「孫の手よ。おばあちゃんったら、あっちこっちがかゆくなるの。私が家にいるときは、かいてあげるんだけど、私がいな

いとき、せなかがかゆくなったら、おばあちゃんが困るでしょう。それで、孫の手があつたら、自分でかけるでしょう」

「なるほどね、お父さんにはどんなおみやげを買ったの」

「先生、何だと思う？」

「さあ、なんだろう」

「あのね、おまもりとね、キーホルダー」

「どうしておまもりにしたの」

「お父ちゃんね、いつも会社に行くのに自動車で行くの。そして、会社のお仕事も自動車で乗って、走りまわってるんだつ

て。だから、事故をおこさないように、おまもりとキーホルダーにしたの」

「お母さんには？」

「お母さんには、メモ帳よ」

「メモ帳って、どうして？」

「先生に話してもいいかな、……先生、お母ちゃんにあつたときは、だまってるね」

「ああ、言わないよ」

「あのね、お母ちゃんたら、忘れんぼなの。自分でもね、昔から忘れんぼだった」と言っ

るの。だからね、忘れないように、すぐに書いておくように、かわいいメモ帳と小さいえんぴつにしたの」

「お母さん、何かおっしゃった？」

「うん、これは便利ね、たすかったわ」と喜んでいたわ

「よかったね」

「妹は甘い物が好きだから、おだんごよ」

マミちゃんはマミちゃんなりに家族のことを考えているのです。

おみやげ一つにも、その子ども

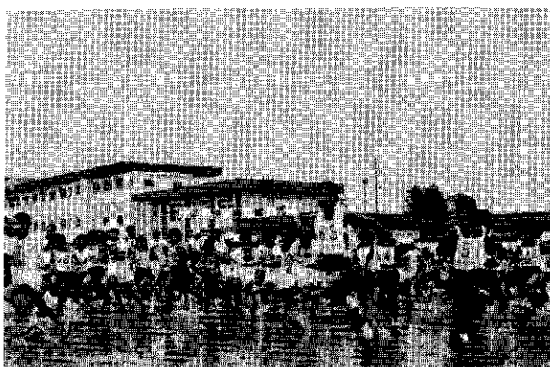
の心があらわれているんだなと

感じました。

児童文化研究家吉岡たすく

さんの文を、「PHP」二月

号から転載しました。



町民体育祭でのマラソン小学生の部(昭63.10.10)

戸籍の窓から

昇天——こめい福を祈る

中島 福治64(本)人上野
石沢 リツ71(利)雄中屋敷
大海 達雄77(本)人霜条
柄澤チユノ80(富)壽沖立
平野 ノブ81(修)四郎兼
登坂 ヨサ84(信)雄岩瀬
野沢マキノ85(明)野口

うぶ声——おすこやかに

星名 トイ85(佐一郎)高原田
平野キクノ86(喜八郎)四郎兼
高橋 イセ88(文)夫伊友
丸山 寅吉90(徳)助根深

高橋奈々恵 十郎一女伊友
蔵品まさみ 洋子一女霜条
鈴木 雅隆 紀子一長男新町新田

たかさこ——こ円満に

須藤 秀則 高原田
(野村 美左紀 横浜市から
茂野 耕太郎 伊友
茂野 美知江 学校町から

かわにし 俳壇

太田白南風選



小白倉 江口みゆき
椿咲く垣根の道の京の旅
春の雨町を往き来の傘の色
ハウスよりラジオ聞こゆる春仕事
水温む池に越冬鯉放つ

三領 水品 律

土筆摘む子と居て遊び心かな
吾もまた少女に還り土筆摘む
ままごとの土筆料理の客となり

足立区 山形 頼太

仰向きて沈丁雨に匂い咲く
雪解けや旅立ち送る山の駅

中仙田 仙 蒼子

瑛路も年古りめける内裏かな
大くしゃみして朝明けの余寒かな

大倉 中条 石平

柔らかに花のほぐるる猫柳
陽炎の道にペタルを軽く踏む

仁田 小幡しん女

木蓮の蕾の多き困い解く
雪解風南風となり東風となり

中仙田 南雲 寿恵

このあたり摘菜ときめて灰を撒く
訪うて先ず沈丁の香り寝ぬ

高倉 斉木 和人

春雨や柳並木に露立ちて
湯治する一泊三日の春の雨

霜条 大海 白濤

兄弟の兄の竹馬高かりし
竹馬の籬の中ものぞきゆく

岩瀬 小川 益栄

思わずもまぐれ雪来し春彼岸
校庭に小流れ二条雪解急

野口 野沢 寅生

小雪とはかく早々と青き踏む
花柄のエプロン似合い種子を売る

霜条 星名 星光

ダキ下にある残雪も今日限り
ふる里のこより多し薙椿

浦和市 登坂 博史

御陵の常盤木を吹く春の風
春蘭のほのかに香る庭の隅

伊勢原市 金子 桂吉

寒天屋に出張き中倒れ急死せる
中島氏を悼みて

寒天の白極まりて逝きにけり
老に鞭打って勤めて春惜しむ

合格の知らせうれしき弥生晴
雪消ゆと妻のたよりや春隣

上町 高橋 願似

手作りの青菜供えて彼岸入り
芍薬の芽の先々の紅の濃く

中屋敷 数藤 壮一

芍薬の芽の先々の紅の濃く
八王子市 田中 ひさ

芍薬の芽の先々の紅の濃く
塩辛集落センター



調理講習会(昭63・6・28)
塩辛集落センター

年に一度は

子宮がん検診を

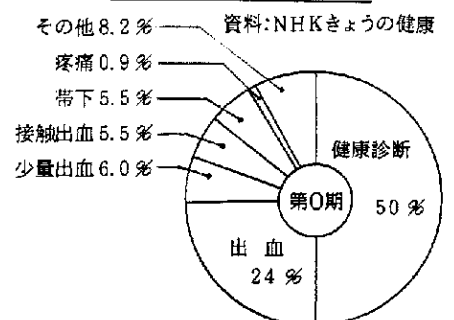
閉経後の人に手遅れが

女性だけのがん「子宮がん」
は、検診技術などの進歩により
年々死亡率は減少しています。

しかし、まだ「手遅れ」にな
ってから病院を訪れる人も少な
くありません。町ではここ十年
間に五人の方が子宮がんで亡く
なっています。

子宮がんは、腫(ちつ)に近い
子宮頸(けい)部にできる頸が
んと、奥の方にある子宮体部に
できる体がんがあります。日
本人の場合、頸がんが多いのが

頸がん初期発見の動機



特徴です。(八〇〜九〇%)

子宮頸がんの初期の発見のき
っかけを調べてみると、図のよ
うに、健康診断で見つかった人
が五〇%、ごくわずかな出血で
見つかった人が二四%となつて
います。自覚症状がなくて、ひ
そかにがんができていくという
ことが多いわけですから、また、運
動、排便、性交時に出血したら
診てもらふことが大切です。

町では、三十歳以上の方を対
象に子宮頸がん検診を行ってい
ます。子宮の入り口から綿棒の
ようなものでこするようにして
細胞をとるだけで、痛みはまっ
たくありません。

としますと、生理が終わつ
たすけ、と受診をやめてしま
う人がいます。しかし、子宮や
卵巣のがんは、年齢が高くなる
ほど発生する危険性が高くなり
ます。年一回は検診をぜひ受け
ましょう。

くしんかん